神戸大学交響楽団
第52回定期演奏会

PROGRAM

神戸大学交響楽団　第52回定期演奏会

歌劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第１幕前奏曲　　**ワーグナー**
Die Meistersinger von Nürnberg Vorspiel　　Richard Wagner

指揮　小　森　杏　奈
コンサートミストレス　宮　辻　里　奈

シンフォニエッタ　　**プーランク**
Sinfonietta　　Francis Poulenc

第１楽章：Allegro con fuoco
第２楽章：Molto vivace
第３楽章：Andante cantabile
第４楽章：Finale: prestissimo et tres gai

指揮　小田野　宏　之
コンサートマスター　富　宅　　光

交響曲第６番ロ短調　作品74　＜悲愴＞　　**チャイコフスキー**
Symphony No.6 in B minor, op74　"pathétique"　　Peter I. Tschaikowsky

第１楽章：Adagio - Allegro non troppo
第２楽章：Allegro con grazia
第３楽章：Allegro molto vivace
第４楽章：Finale. Adagio lementoso

指揮　小田野　宏　之
コンサートマスター　東　　規　雄

2002年12月7日〈土〉午後７時開演
尼崎市総合文化センター　アルカイックホール
後援：兵庫県・神戸市民文化振興財団・神戸新聞社・兵庫県オーケストラ協議会

客演指揮者　小田野　宏　之（おだのひろゆき）

横浜生まれ。1980年東京芸術大学音楽学部指揮科卒業。1983年同大学大学院音楽研究科修了。指揮法を金子登、渡邊暁雄、ピアノを水谷達夫、フルートを川崎優の各氏に師事。1983年より国際ロータリー財団奨学生として2年間ウィーン国立音楽大学へ留学。オトマール・スウィトナー氏のもとで研鑽を積む。

1982年第17回民音コンクール指揮の部第3位入賞、同時に「斉藤秀雄賞」受賞。1984年オランダで行われた第1回キリル・コンドラシン国際指揮者コンクールに於いて第2位入賞。アムステルダムのコンセルトヘボウ大ホールに於いてオランダ放送フィルハーモニー管弦楽団を指揮してヨーロッパにデビュー。

これまで全国各地の主要オーケストラを指揮するほか、オペラ、バレエ公演の指揮、またＮＨＫテレビ、ＦＭ放送に出演するなどその活躍は多方面にわたり、その誠実な指揮ぶりと豊かな音楽性はそれぞれの分野で高く評価されている。1985年以来オランダ放送交響楽団、同室内管弦楽団と度々演奏会、放送録音を行う。1986年には北オランダのフリスク管弦楽団定期演奏会に日本人として初めて登場、成功を収める。1989年大阪センチュリー交響楽団設立の際は、楽員オーディションの審査やオーケストラのトレーニングに尽力した。

大阪センチュリー交響楽団指揮者（1990-92）、広島交響楽団正指揮者（1995-2002）などを歴任。現在は東京芸術大学非常勤講師として後進の指導にも当たっている。

トレーナーの先生方

ギオルギ・バブアゼ（関西フィルハーモニー管弦楽団　コンサートマスター）

宮　村　　聡（京都市交響楽団　主席トランペット奏者）

村　瀬　　司（大阪シンフォニカー交響楽団　主席クラリネット奏者）

以上の先生方にご指導いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。